

■21COE研究集会

京都大学化学系COE合同シンポジウム

「生命現象の起源を司る生体高分子の化学〜DNA, RNA, Proteinの機能構造とその制御〜」

日時:平成18年12月2日(土曜日)13:00-17:25

場所:京都大学北部キャンパス理学研究科2号館第1講義室(120号室)

世話人:

京都大学大学院理学研究科化学専攻(斎藤COE)

板東俊和 (tel:075-753-4001: bando*)

藤橋雅宏 (tel:075-753-4030: mfuji*)

京都大学大学院生命科学研究科(米原COE)

齊藤博英 (tel:075-753-3997: h-saito**)

* @kuchem.kyoto-u.ac.jp

** @lif.kyoto-u.ac.jp

目的:最近のゲノムプロジェクト完了と分子生物学の急速な進歩によって、生命現象の起源を司るDNA、RNA、Proteinを初めとした、生体高分子の化学に関する研究が大きく展開している。本シンポジウムでは、第一線で活躍する若手研究者が、現在、どのようにこの領域の研究を進めているか討論することにより、生命科学分野の多様な広がり認識するとともに、DNA、RNA、Protein研究の展望を考える。

プログラム:

13:00-13:25

篠原憲一(京大院理) 配列特異的DNAアルキル化剤による遺伝子発現抑制

13:25-13:50

吉村成弘(京大院生命・分子情報解析) 遺伝子と核のナノバイオロジー

13:50-14:15

折田和泉, 由里本博也, 阪井康能(京大院農) ホルムアルデヒド固定酵素の構造と生理機能

休憩

14:30-14:55

田代 竜(京大院理) ハロウラシルの光反応性を利用した核酸の構造と電子移動の解析

14:55-15:20

清水義宏(東大新領域) 無細胞蛋白質翻訳システムの開発と応用

15:20-15:55

平野 優(京大院理) 大腸菌由来Cpxシグナル経路活性化因子NlpEの結晶構造

休憩

16:10-16:35

山東信介(京大院工) 蛋白質翻訳システムの制御・拡張・進化とその化学的応用

16:35-17:00

齊藤博英(京大院生命・遺伝子動態) 人工RNA・タンパク質のデザインと試験管内進化

17:00-17:25

小森博文(兵庫県大・院生命理) 転写調節複合体の構造解析